



秦野名水ロータリークラブ  
秦野商工会議所 12:30

## 1. 点 鐘

## 2. 合 唱 国歌「君が代」, 「奉仕の理想」, ロータリーの目的

## 3. お客様の紹介

・矢野 一博 様 (秦野中RC)

・米山奨学生 シルバカーランバアラッチゲドナ・シーギリ・ヒマーシさん

## 4. 会長の時間

○私たち年度も4・5・6月と残り3ヶ月になりました。これから3ヶ月気を引き締めていきますのでよろしくお願い致します。コロナ禍での9ヶ月なかなか思うような活動が出来ず忸怩たる思いです。

○私事ですが、熱心なゴルフ仲間がおりまして、毎週日曜日にはゴルフ場の予約を取ります。コロナ禍ではありますが食堂を除いては屋外になるのでコロナの感染はほとんど無いと思います。食堂もゴルフ場がしっかり管理しており、座席の間隔もしっかり空けてテーブルには衝立がしっかり置かれ感染予防に細心の注意がされていました。

コロナで3密を避けるという事でなかなか外に出掛ける機会もありませんのでどうしてもこのゴルフ仲間が話し相手になります。その中にとても律儀な“金型屋”さんがおり、その彼の工場を見学させて頂く機会がありました。驚いたことに従業員30名の中に1/3が女性でコンピュータ制御の機械を使っておられました。女性はメカに弱いと思われていますが、そんなことは無くて見上げるような大きな機械を扱っておられました。ここではダイカストの金型とプラスチックの生成用の金型が主な仕事です。プラスチックの金型は生成した後表面にちょっとした傷や凹凸も出るので十分注意しなければならないところ、この仕事も女性がきれいに丁寧に磨いて傷を取っていました。このような細かい作業は女性には向いているかもしれません、大きなコンピュータ制御の機械を使っている女性を見て新しい形なのかと感じました。

○後二人おりますが、一人は同業者なので割愛しもう一人は設計士です。最近聞いた話では学校にエアコンを付けるという事で設計図を作成するということです。一般家庭では業者と話し合って取付場所等を決めますが、学校の場合は全て設計図を書いてその設計図通りに設置するわけです。一般家庭のように簡単には設置出来ず、お金がかかることなんだと思いました。

自身のことはあまり話さないのですが、人の話を聞くと「あーなるほどな」と感心し皆さんこのコロナ禍の中でも頑張っておられるんだと思いました。

## 5. 幹事報告

### 【ガバナー事務所より】

今月のロータリーレート：1 \$ = 110円

①次年度クラブ幹事研修 開催のご案内

### 【例会変更】

### 【本日の配布物】

・1727回例会次第

・1726回週報

・ロータリーの友4月号

## 6. 奨学金授与及びスピーチ

- 2ヶ月ぶりに皆さんに会えてとてもうれしいです。  
私はいよいよ修士の最後のセメスターになりました。  
本当に一年半はあつという間でした。これからも  
精一杯頑張ります！  
今日はお話しすることをいろいろ考えてきました。  
あっち見てもこっち見ても桜で、私にとっては厳しい冬が終わってやっと春が来たという気持ちです。  
一年中暑い国からやって來たので冬はどうしても慣れなくて……本当に今は嬉しいです。



○桜というと、桜=花見ということで日本人にとって花見は凄い大事です。外国人にとっては、日本というシンボルは桜です。みんな桜を見たくて見たくてという気持ちです。スリランカで日本語を教えていた時も学生がみんな桜を見たいと言ってました。  
桜の行事をちょっと調べたところ、私が知る限りでは江戸時代に入ってから花見の行事が習慣として日本中に広まつた。江戸時代の男の子・女の子が着物を着飾って出かけ始めましたという事を聞きました。

本当に華やかな季節で、一年中の季節の中で一番大事な季節だと思います。桜という花も一週間くらいで満開になり、それから花びらが落ちるという事が、人生のように満開になってそして落ちることに繋がると調べました。

昨年はお花見に行けなかったので、今年は是非これから行きたいと思います。  
ありがとうございました。

## 7. 記念日

- ・会社創業記念日 酒井さん (4/6)
- ・入会記念日
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日 (会員) 諸星利男さん (4/4)  
(配偶者)

## 8. スマイル報告

- 秦野中 RC 矢野一博様 「お久しぶりです。悩みは体重オーバーです。」
- 神崎達朗さん 「今期もあと3ヶ月となりました。残り3ヶ月頑張って参ります。  
宜しくお願い致します。」
- 大屋富茂さん 「人の世はコロナコロナの大騒ぎ!!自然界、春爛漫の桜かな！」
- 鈴木和夫さん 「水無川沿いの桜、超満開で感動です。リモートでのPETS及び  
分科会も無事終了しました。後は自クラブ研修会に向けて行動です。皆様よろしく  
お願いします。」
- 古谷スミ子さん 「桜が満開です。盆地の中が薄いピンクに覆われ春たけなわです。  
元気に過ごしたいものです。」
- 山谷洋子さん 「桜が満開です。気持ちまでレンレンで楽しくなってきます。」
- 桐山晃忠さん 「暖かくなりましたが、コロナウィルスは益々元気です。負けない  
様に頑張りましょう。」
- 原郁夫さん 「矢野さん、ようこそ。お久しぶりですね。」
- 東島礼美さん 「桜がとてもきれいです。スマイルします。」
- 淵脇美代子さん 「春霞？黄砂でしょうか？でも桜は満開、花吹雪、桜の絨毯…  
やはり桜は良いですね。スマイルします。」
- 諸星道治さん 「ヒマーシさん、久しぶりです。スマイルします。」
- 矢端雅子さん 「4月1日より JCOM 西湘局に名前変更になりました。」

○原恵美子さん「“握り合う、この手のぬくもりよ、とこしえに、八重の桜に夢を重ねて” 64歳で逝ってしまった姉、残された娘や孫たちの親代わりを誓い 握り合った姉の手のぬくもりは今も忘れることはできません。葬儀のすべての段取りを決めて逝った姉でした。桜を見ると思い出します。

合計 41,000 円

## 9. 出席報告

○会員数 16名、○出席義務 16名、○出席数 12名、出席率 75.0%

## 10. 地区委員会報告 ⇒ 無し

## 11. 委員会及びその他の報告

○原パネラー：IMについてご報告させて頂きます。

IMのパネラーに選ばれて2回打ち合せ会に出席して参りました。そしてリモートの練習も各会場で練習を行ってきましたが、先般メールが届きましてIMのやり方が少し変わるようです。会場は1会場、要はメイン会場のみとなりそこに久保田ガバナーがお見えになり、パネラーも6クラブから選任されていましたが、各クラブの会長がこのコロナ禍でのリモート例会等について1年間振り返って大変だったことをスピーチするようなことに変わって来たようです。詳細につきましては後日会長・幹事から報告があると思います。



## 12. クラブフォーラム

○<神崎会長より>

今日は地区の補助金の対象になります“絵本を子ども園に贈呈する”という企画が3月末に認可になりました。4月は新学期の季節なのでこの時期に実施したいと思った次第です。この企画を考えて下さった古谷副会長から説明して頂きます。



○皆さんのお手元に“絵本リスト”と書かれた資料があると思います。ただいま会長からお話しがありましたように地区の補助金を得ての仕事でございます。

今年は皆さんご存知のように原恵美子さんの方で心泉学園の生徒さんを対象にテーブルマナー教室を企画して頂きましたがこのコロナ禍で中止せざるを得なくなりました。この企画は次年度に是非実施できるようコロナと対峙していくかなければいけないと思っています。

○コロナコロナで本当に皆さん家の中に閉じこもりっぱなし、外に出て行くと今日も東京都ではたくさんの感染者が

発生しております。神奈川県も増えています。こういう状況の中でコロナに負けないような何かが無いか考えました。テーブルマナーの開催が難しくなった際に補助金を地区の方へ返されました。そして2月に急遽再募集がありました。そして皆さんには何か企画があれば申し出て下さいとFAXでお知らせをしました。そこで募集の条件(2月中に応募・3月に地区で決定・4月に実施・5月に経過報告)を全てクリアしなければならない為、今までの奉仕活動をずっと振り返ってみました。そこで高橋幸雄年度の時に幼稚園に絵本を贈呈し、次年度は私立保育園に紙芝居を贈呈したことを思い出しました。この計画だと地区から出ている前述の条件更に補助金の上限が50万円まで、またかかった費用の半分以上はクラブが拠出すること、残金は地区が補助として出すということに当たるのではないかと思いました。

○そこで皆さんのお手元にある絵本リストをカネマス書店から取り寄せ、市立認定こども園5園、私立認定こども園4園に贈呈ということで計画を立てました。

コロナ禍ではありますが、我々クラブの方から絵本を持って出向き、申し訳ないのですが玄関先でお渡しようと思います。

総額の48%が地区、52%が我がクラブ負担としました。(金額詳細は資料参照)

3月25日に決定通知が来たので早速発注を掛けましたが、出版社がばらばらなので今日現在入荷の予定が分からぬという事でした。

贈呈には皆さんのお近くの園に二人ペアで伺って頂き、子どもたちの喜ぶ顔を直接拝見し、クラブに報告して頂きそれを地区の報告書に纏め提出したいと考えております。

尚、①こども園に伺う日時や担当者は事前に決めておく、②伺う日は市の保育こども園課から連絡を事前に入れて頂く、③本は48冊/園なのでカネマス書店で9園分に分けてもらう予定です。

○本当に忙しい計画ですので、是非皆さんのご協力をお願い致します。また次年度は認定こども園でなく普通の保育園に少しずつ贈呈すると、コツコツと続けて行けたら素晴らしいなと思います。

今年度皆さんと奉仕活動で贈呈した記念品を見て回りましたが、あのような大きなものではありませんが、図書というものは子どもの心を養うものです。保健室は体の健康を見るところですが、心の健康を養うところは図書室だと思っています。よってこの本を読んだからと言つてすぐに心豊かになるわけではありません。でもどこかで何かの拍子にその絵本のことを思い出して心の成長の糧になったらとても有難いことだと思ってお力添えを頂ければと思います。

## 13. 点 鐘